

# 令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	有田町立有田中部小学校	児童数	463人
-----	-------------	-----	------

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	咲かせよう、読書の花！ ～見つけようお気に入りの1冊～
	取組期間	令和6年(2024年) 4月15日 ～ 令和6年(2024年) 年11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	463人	実施日数	230日	読書冊数	33506冊	連携した団体数	2団体
	取組内容(概要)	①読書桜 ②読書ノート ③「ドリーム」さん(保護者の方を中心としたグループ)による読み聞かせ ④図書祭り(6月・11月) ⑤学級文庫や調べ学習図書 ⑥教職員への希望図書アンケート						
工夫したこと	【①読書桜】 4月、図書室に読書桜を設置しました。学年ごとに桜が咲く基準(貸出冊数)を設定し、3月に満開の桜が咲くことをゴールにしました。各学年の貸出冊数が桜として表され、桜が咲くにつれ「花が咲いてきたね。」などと児童の声も聞かれるようになりました。 「読書桜」は図書室を鮮やかにするとともに児童一人一人の心にも読書を通して桜が咲いてほしいという思いで始めました。次の学年に心に咲いた多くの桜をもってほしいと願っています。 【②読書ノートの活用】 アジサイ図書祭り(6月)に合わせて、県から配布された読書ノートを配布しました。読書ノートチャレンジとして、全校で取り組み、読書ノートを書き終えた児童には、賞状としおり、プラス1冊券を渡しました。1年生は、文章で書くことが難しいため、本を読んだらシールを貼るようにしました。 【③「ドリーム」さんによる読み聞かせ】 読み聞かせグループ「ドリーム」さんが、月に1回程度クラスごとに読み聞かせを行っていただきました。児童の発達段階に応じた本を選んで、読み聞かせをしていただきました。昔話、民話、季節の本など児童のことを考え様々なジャンルの本の読み聞かせを聞くことができました。児童も毎回どんな本を読んでもくださるのか楽しみにしていました。							

	<p>【④図書祭り（6月・11月）】</p> <p>毎年、年に2回の図書祭りを実施しています。図書委員会の児童が協力して図書祭りの計画、準備、運営を行いました。くじ、本探し、しおり作り、わなげ、読み聞かせなどのイベントを行いました。日によってイベントに参加できる学年を分け、学年に応じた取り組みになるよう計画を立てました。図書祭り期間中は多くの児童が図書室を訪れ、たくさんの本を借りていました。特に、借りた本の冊数に応じて挑戦できるくじ引きは毎回人気で、読書への意欲が高まるきっかけとなりました。くじの景品では、次回から使える「プラス1冊券」が人気で、図書祭りが終わった後も図書室へ足を運びたくなるような工夫をしています。</p> <p>【⑤学級文庫や調べ学習図書の積極的な貸し出し】</p> <p>学級文庫用に学年に応じた本を図書室から貸し出しています。朝の時間に読書タイムがあるので、学級文庫の本を読んでいます。先生方に必要な本の冊数とどのような本がよいかのアンケートを取り、貸し出しをしています。年に3回の入れ替えを行い、たくさんの本に触れる機会を作っています。読んだことのない分類の本も読んでほしいため、普段借りないような本も入れるようにしています。</p> <p>各学年の学習内容（平和学習、総合的な学習の時間の調べ学習、国語科説明文や物語文の並行読書）に合わせて、学習用図書の貸し出しを積極的に行っています。各学級への貸し出しには冊数も必要になってくるため、図書室にない場合は町立図書館と連携をして準備しました。</p> <p>【⑥教員の希望図書アンケート】</p> <p>各クラスの担任の先生に希望図書のアンケートを取りました。各教科に活用できる図書を用意することができました。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>2回開催した図書祭りでは、普段図書室へと足が向かない児童も、意欲的に本を借りに行く機会となつてよかったです。また、読書桜や読書ノート取り組みでは、継続的に読書へと向かう手立てとなりました。貸出冊数も昨年より約5千冊増えていたので、今後もたくさんの本と出会ってほしいです。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<p>昨年度から継続的に取り組みを行っていることによって、読書に親しむ児童が増えました。現段階での貸出冊数も昨年より増え、児童が本に触れる機会が多くなっていると考えます。今後は、学年末に向けて、読書冊数を個人にフィードバックしたり、多読賞で讃えたりして、次年度の意欲へとつなげていきたいと考えています。また、「見つけようお気に入りの1冊」がテーマなので、見つけたお気に入りの共有していく取り組みもしてみたいです。</p>

## 読書桜～心に満開の桜を～

4月から読書桜の木を図書室に掲示し、スタートした「読書桜」。読書を通して、豊かな心を育てほしい。目に見える形で満開にしたいのはもちろんのこと、なにより児童一人ひとりの心に読書桜を満開にしたいという思いで始めました。一人ひとり桜の咲かせ方はさまざまです。一冊の本と長い時間向き合い咲かせる子、出会ったことのない本との出会いから咲かせる子、友達からのおすすめでの出会いから咲かせる子、どの咲かせ方も素敵です。

「読書桜」は図書室の出入り口に設置してあります。図書室から出た子は借りた本との素敵な出会いにわくわくし、図書室へ入るときには次の本への期待と読んだ本への感謝を持ってほしいという思いがあり、設置場所を決めました。学年ごとに桜の木を用意し、それぞれの桜を咲かせるようにしました。11月末時点でもきれいな読書桜が咲いていますが、ゴールは3月末の満開の読書桜です。6年生は心に満開の桜を咲かせ、中学校に。1～5年生は心に満開の桜を咲かせ、次の学年へ。本との出会い・読書が人生の1ページに刻まれることを信じて…。

「読書桜」への児童の声も聞こえるようになりました。「たくさん咲いたね。」「もっと咲かせたい。」「3月にはもっと増えてるよね。」その声は目に見えている読書桜について言っているのかもしれませんが、児童の心にも同じように読書桜が咲いていると感じます。

4月の読書桜（植えた当初）



貸し出しカウンターの正面にあるため、子ども達も自然と目が行き、「たくさん咲いてきたね。」「0年生はたくさん本を読んでいるんだね。」「もっと咲かせたいね。」と呟き、意識している様子が伺えました。

読書桜が咲いてきました！



きれいな読書桜（3月の満開の読書桜に期待）



ぱっと見て全校の貸し出し冊数が把握できるので、学級担任の先生が児童への促しを意識するきっかけにもなりました。

## 読書ノートで継続を!!



読書ノート

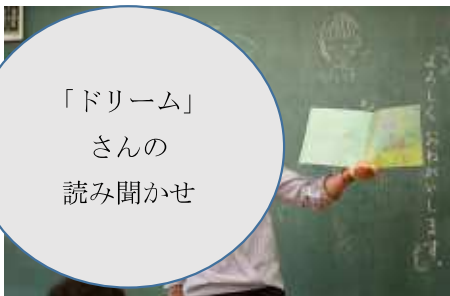
ノートが配られると早速子どもたちは意欲的に記録をしていました。1ページ1ページ埋まっていく達成感もあり、面白い本に出会うと、「先生、この本読書ノートに書くね!」と嬉しそうな顔が見られました。言葉で表現するのが難しい1年生は絵を描いて感想を伝えようとする姿も見られました。

達成した人には…

- ミニ賞状
- プラス1冊券 (3枚)
- オリジナルしおり



## 「ドリーム」さんによる読み聞かせ



「ドリーム」  
さんの  
読み聞かせ

月に1回程度朝の時間に、クラスごとに読み聞かせに来てくださいます。昔話、民話、季節に関係する本、外国の本などさまざまなジャンルの本を児童の発達段階に合わせて選び、読み聞かせを行ってくださいます。読み聞かせを聞いて、その場で感想を伝えあうクラスもありました。

## アジサイ・コスモス図書祭り

6月と11月に図書祭りを開催しました。図書委員会の子どもたちが、どんなイベントを開催するとたくさんの人が集まってくるか・本に親しむきっかけになるか考えながら企画しました。本探しやしおり作りなど学年ごとにイベントに参加できる日を決め、学年に応じた内容を考えていました。特に「くじ」は大人気で、景品のプラス1冊券を狙ってたくさんの児童が本を借りて挑戦しました。プラス1冊券によって、図書祭りが終わった後も図書室に足を運ぶ児童が増えました。



くじ引き

### 【イベント内容】

- ・本探し
- ・くじ引き
- ・わなげ
- ・まちがい探し
- ・読み聞かせ
- ・しおり作り
- など

### まちがい探し



学年ごとに問題を変えて、楽しめるように工夫しています。参加者にはプラス1冊券のプレゼントがあり、また本を借りに来るきっかけとなります。

わなげのイベントは大人気でした。高得点の児童を放送で発表したり、賞品をプレゼントしたりして、盛り上がりました。



### わなげ



図書祭り期間中は図書室利用者が**普段の2~3倍!**たくさんのイベントで盛り上がりました。



自分の好きな絵を描き、しおりにしています。何を描こうかな?

### しおり作り

## わいわい文庫の活用

いろいろな事情で、通常の本では読書が難しい児童もいます。そんな児童もお話に触れることができるようにマルチメディアD I S Y図書「わいわい文庫」を活用しました。各クラスの電子黒板から絵本の読み聞かせを楽しめるようになっていきます。読者のニーズに合わせて、文字の大きさや読み上げるスピードも変更することができます。クラスで楽しむことも、個人で楽しむこともできました。図書室では、図書祭りのイベント「読み聞かせ」で活用をしました。まだ、使い始めたばかりですので、各担任の先生方へ周知を図ったり、図書室でもいろいろな使い方ができないか創意工夫をしたりしていきたいと考えています。

昨年度より、貸出冊数**約5000冊増加!**